

平成 20 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 アセット・インベスターズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 若 山 健 彦
 (コード 3121 大証 2 部・福証)
 問合せ先 経営企画部長 宮 毛 忠 相
 (TEL 03-3502-4910)

特別損失の発生及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期第 2 四半期において特別損失が発生する見込みとなりましたのでこれについてお知らせするとともに、本日開催の取締役会において、平成 20 年 7 月 30 日付当社「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりました、平成 21 年 3 月期第 2 四半期及び通期連結業績予想について、下記の通り修正する旨を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

当社子会社が運営しているボウリング場及びアミューズメント施設の業績が、レジャー需要の低迷や競合店の出現などの要因により低迷していることを踏まえ、今後の利益計画を保守的に見積もった結果、当該施設に係る有形固定資産の評価を切り下げ、減損損失約 10 億円を当第 2 四半期の特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正

(1) 修正の内容

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	四半期(中間) 純 利 益 (百万円)	1 株 当 たり 四半期(中間) 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,400	3,100	3,400	1,500	18 円 26 銭
今 回 修 正 発 表 (B)	4,300	5,700	5,800	5,800	70 円 60 銭
増 減 額 (B - A)	2,100	2,600	2,400	4,300	
増 減 率	32.8%				
【ご参考】前年同期実績 (平成 20 年 3 月期 中間期)	2,851	75	107	938	11 円 42 銭

(2) 修正の理由

売上高の修正理由

主に、市況の低迷などにより、売上高への貢献が大きい海外案件及び不動産投資の投資回収について、前回予想時の見込みを下回ったことから、第 2 四半期連結累計期間の売上高予想を 4,300 百万円 (前回予想から 2,100 百万円の減少) に下方修正いたします。

営業利益及び経常利益の修正理由

主な修正理由は、上記 の通り投資回収が見込みを下回った影響のほか、以下の通りとなります。

- (a) 国内未上場株式の評価損約 5 億円
- (b) 国内上場株式の 9 月末時価を基準とした評価損約 5 億円
- (c) 海外企業投資の評価損約 3 億円
- (d) 不動産投資の評価損約 2 億円

こうしたことから、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益予想を 5,700 百万円(前回予想から 2,600 百万円の減少)に、経常利益予想を 5,800 百万円(前回予想から 2,400 百万円の減少)に、それぞれ下方修正いたします。

四半期純利益の修正理由

上記の経常利益の減少によるものに加えて、以下の通りとなります。

- (a) 上記 1.に記載の有形固定資産の減損損失による特別損失約 10 億円
- (b) 転換社債型新株予約権付社債の一部買入消却などによる特別利益約 1 億円
- (c) 繰延税金資産約 7 億円の全額取崩し、並びに子会社ファンド保有株式の現物分配などに伴う繰延税金負債の増加約 3 億円による法人税等調整額約 10 億円

こうしたことから、当第 2 四半期連結累計期間の四半期純利益予想を 5,800 百万円(前回予想から 4,300 百万円の減少)に下方修正いたします。

3. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,000	3,400	3,800	2,200	26円78銭
今回修正発表(B)	8,600	8,300	8,500	7,100	87円65銭
増減額(B-A)	1,400	4,900	4,700	4,900	
増減率	14.0%				
【ご参考】前期実績 (平成20年3月期)	5,054	1,128	1,515	44	55銭

(2) 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正によるものに加えて、昨今の金融市場、不動産市況の低迷を鑑み、国内企業投資について約 7 億円、海外企業投資について約 3 億円、不動産投資について約 17 億円の売却損または評価損を保守的に見込んだことなどから、上記(1)の通り売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の下方修正を行うものです。

4. 今後の対応

当社は、当期における業績の急激な悪化について真摯に受け止めており、経営環境が大きく変動している中で、早期に業績を回復し、安定的な収益基盤を確立するため、事業モデルの再構築が必要であると認識しております。

今後、リスク管理機能の強化、コーポレート・ガバナンス体制の見直し、並びに組織のスリム化による経費削減等の施策を進めてまいります。また、既存の事業の再編や新たな事業提携などの可能性についても検討を行ってまいります。

当社では、こうした方針に沿った新たな経営計画を策定しており、内容が固まり次第公表いたします。

5. 資本増強策について

当社連結純資産は当第 2 四半期末において 50 億円を超えており、財務の健全性を維持しております。

一方で、国際的な金融不安が顕在化し、国際金融市場、不動産市況の低迷及び信用収縮が深刻化する中、国内外向け投融資を主力とする当社グループを取り巻く環境はさらに厳しいものとなっております。

このような状況を踏まえ、引き続き早期の投資回収に努めるとともに、10 億円から 20 億円規模の第三者割当増資の実施について複数の引受先候補と協議を行っているところです。

係る資本増強策については、今後具体的に決定し次第公表いたします。

以上